

伊方町議会第74回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
高月 芳人議員	1 施策の効果的かつ計画的な実施について	町 長
質問の要旨		
<p>予算審議の際、毎回理事者から議会に対し当年度取り組む主要施策がまとめられた資料の説明があります。その資料には、新規事業、拡充事業、継続事業の事業名と予算が記載されているわけですが、毎回かなりの数の新規事業が上がってきているように思います。令和5年度で言いますと、各部署合わせて継続207件、拡充15件の事業に加え、新規で60件の事業が追加されております。新規事業が多いということは意欲の表れであり、積極的な行政運営で素晴らしいなと思う反面、毎年継続事業に相当の新規事業が追加され、どんどん事業数が膨れ上がっているイメージで、本当にこの量をこなせるのだろうか、それぞれの事業に十分な成果が得られるのだろうかと心配になっているところがございます。</p> <p>業務の内容や仕事量などは、私も十分承知しているわけではございませんので、一概には言えないところはあるのですが、職員の数は限られており、むしろ不足していると思われる状況の中、職員への負担が年々増しているのではないかと危惧しているところでございます。</p> <p>そうした中で必要となってくるのが、選択と集中、スクラップ&ビルドという考え方ではないでしょうか。長年続けてきた事業というのはなかなか止めづらいところはあるでしょうが、停滞している事業があれば思い切って縮小または廃止していく必要があるでしょうし、今何が必要でどこに力をいれなければならないのかを見極め、事業の優先順位を明確にし、そこに力を集中させて確実に成果を発揮させていくことがこれから必要になってくるのではないのでしょうか。</p> <p>また、業務を効率化させて、余力をつくった上で新たな事業に取り組んでいくということも必要ではないかと思えます。デジタルの技術を十分活用することはもちろん、現在行っている業務または業務の進め方に無駄はないのか精査していく作業も必要だと思えます。</p> <p>こうしたことで、まず足場をしっかりと固めて、健全な形で事業に取り組み、着実に成果が出せるような環境づくりを行うことにより、効果的かつ計画的な施策を展開すべきと考えますが、現状を踏まえたうえで、町長のご所見をお伺いいたします。</p>		

質問者	質問の大綱	質問の相手
高月 芳人議員	2 町有施設の利活用・魅力化について	町 長
質問の要旨		
<p>町は数多くの施設を所有しておりますが、その中には廃校となった学校の校舎や保育所跡地など、その役目を終えて使用されなくなった施設や現在稼働中であっても極端に使用頻度が少なく有効に活用できていない施設もかなり多く存在します。</p> <p>さらに先般、学校再編計画案が策定され、小中学校の統廃合について現在各地域で説明会が開催されているところであり、また保育所についても今年度中に再編計画が策定される予定となっております。このように、人口減少が進むにつれ、今後さらに遊休施設は増加していくものと思われまます。</p> <p>この件については町民の皆さんも関心が高く、「跡地はどうなるのか」、「何か有効に活用できないものか」など、私のところにもこういった心配の声が届いているところでございます。</p> <p>こうした状況を受けて、現在町としても遊休施設の増加や施設の老朽化を今後持続可能なまちづくりを進めていく上での課題ととらえ、その解決に向けた取り組みとして「町有施設の民間活用提案事業」の運用がすでに開始されており、その成果も少しずつ表れていることと承知しておりますし、私としましても非常に良い取り組みであると期待しているところでございます。</p> <p>遊休施設を含めた町有施設の利活用は、人口減少問題をはじめ、町が抱える諸問題の解決を図る上で大きなポイントの一つになるのではないかと考えますが、町としては、遊休施設の利活用および現在稼働している施設の有効活用・魅力化をまちづくりの位置づけとしてどのようにとらえているか、また活用の方針、事業の推進体制について、「町有施設の民間活用提案事業」を含めた現在の取り組み内容と成果を紹介いただきながら町長のお考えをお聞かせいただきたいと思います。</p>		